

市議会だより

3月定例会

令和元（'19）年5月1日発行



主な内容

- ◎新年度予算審議
補正予算の内容
2～3ページ
- ◎審議された議案の内容
4ページ
- ◎審議された議案の結果
5ページ
- ◎一般質問（17人）
5～13ページ
- ◎議会報告会のお知らせ
6月定例会のお知らせ
編集後記ほか
14ページ

◆ 3月定例会日程 ◆

- 2月21日 開会、市長の行政報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託
- 22日 市長提出議案の質疑・討論及び表決、議員の辞職について
- 27日 総務常任委員会
- 28日 民生経済常任委員会
- 3月 1日 建設文教常任委員会
- 4日 一般会計歳入予算質疑
- 5日～11日 常任委員会（一般会計歳出の所管事務調査）
- 12日 一般質問（保坂・渡邊・岩崎・相馬・新島）
- 13日 一般質問（市川・岡安・新井・星野・岡野）
市長追加提出議案の上程及び説明
- 14日 一般質問（仲又・北村・島村・佐藤正・新妻）
- 18日 一般質問（江森・糸井）
- 19日 特別会計（国保・介護・後期高齢）・事業会計（下水）
歳入歳出予算質疑
- 25日 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、委員会所管事務調査の委員長報告、当初予算一般会計歳出の総括質疑
- 26日 市長提出議案（当初予算）の討論及び表決、市長追加提出議案の質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の上程、説明及び表決、議員提出議案の上程、説明及び表決、埼玉中部資源循環組合議会議員の補欠選挙、桶川北本水道企業団議会議員の補欠選挙、閉会

平成31年度当初予算審議

平成31年度当初予算を可決しました

平成31年3月定例会は、2月21日から3月26日まで34日間開催されました。
今定例会では、市長提出議案37件、議員提出議案2件の提案があり、審議されました。

当初予算

会計名	31年度予算額	前年比較	増減率	
一般会計	240億5,700万円	10億6,400万増	4.6%	
特別会計	国民健康保険	75億 900万円	7,800万増	1.0%
	介護保険	53億6,200万円	1億6,600万増	3.2%
	後期高齢者医療	10億7,100万円	3,300万増	3.2%
下水道事業会計	14億5,208万9千円	2億 191万1千減	△12.2%	

当初予算は、各常任委員会です。それぞれの所管事務について審査をいたしました。主な質疑です。

民生経済常任委員会

《塵芥処理事業》

12億9,900万6,000円

【問】 埼玉中部資源循環組合負担金のこれまでの総額を伺う。

【答】 平成27年度設立以降、4年間総額で3億1,058万5,000円です。

【問】 新ごみ処理施設の建設が1年遅れる理由と、今後の事業の考え方を伺う。

【答】 昨年11月5日開催の正副管理者会議で、用地取得、基本設計、事業者選定の手続を進めるに当たり、住民への丁寧な説明、確実な合意を得ることを優先にス

ケジュールの見直しを行った結果、1年遅れとなったとのこと。今後の事業は、3月26日から4月9日に環境影響評価書等の公告及び縦覧、都市計画決定手続きが予定され、その後用地買収の予定です。

【問】 一般廃棄物処分は4億2,000万円の増。ごみ減量化の対策は。

【答】 平成31年度のみ、閉炉により必要になる事業もあり、塵芥処理費全体としては3億円程度の増と捉えています。燃やせるごみは可能な限り減量化、再資源化を図り全体的な経費削減に努めます。

《子ども・子育て応援基金活用事業》

612万円

【問】 駅西口公園に乳幼児向けの遊具を設置することだが、決定までの経緯を伺う。

【答】 子ども・子育て応援基金事業選定検討委員会を設置し、当面の基金の活用方法や用途を具体的に検討し、検討委員会を計4回開催しました。

【問】 その中で、駅西口公園に新たに遊具を設置できるスペースを確保できたため、要望が高かった子どもの遊び場を充実させる事業として、実施することになりました。

【問】 《産後ケア事業》 254万2,000円

【問】 新生児産後ケア訪問委託の詳細を伺う。

【答】 市と契約した開業助産師が、出産後60日以内に訪問するもので、新生児の発育状況・母体の回復確認、母親の育児相談、授乳指導を委託するものです。

【問】 訪問は1回で終わるものなのか。

【答】 1回訪問となりませんが、必要があれば地区担当保健師や、助産師が引き続き相談を受ける場合があります。

建設文教常任委員会

《駅自由通路改修事業》

2億円

【問】 駅自由通路改修事業負担金の工事計画を伺う。

【答】 駅西口地区が防火地域に指定されており、西口階段の一部が指定区域に入っていました。駅東口エレベーターの設置に伴い、駅自由通路及びJR所有の駅舎を含めた施設全体を耐火化改修する必要があるためです。

【問】 事業期間は、JR東日本より31年度から2カ年間と伺っています。事業費は合計で3億8,000万円、平成31年度は、そのうち2億円の負担金を予定しています。

【問】 工事については、JR

【問】 東日本高崎支社と協定を締結し、今後エレベーター設置工事と並行しながら進めます。

【問】 《コミュニティ・スクール※事業》 27万5,000円

※「学校運営協議会制度」を導入した学校のことです。

【問】 加納小・川田谷小をモデル校として、学校運営協議会を開設します。

【問】 学校運営協議会について伺う。

【答】 校長の示す学校運営の基本方針を承認する役割があります。学校や子どもの実態、課題について共有し、課題を解決するための支援活動を協議し、学校運営の状況を踏まえ客観的に評価をします。

【問】 子どもたちの健全育成のために、既存の組織間の連携を深め、協働を生み出すために、社会とともにある学校づくりを推進する活動が協議会の活動内容です。

当初予算審議／補正予算審議／人事関係

《旧飛行学校整備事業》

1億8,609万7,000円

問

展示製作委託について、展示のイメージと委託内容を伺う。

答

分教場に関する歴史資料のレプリカの作成を委託します。

2点目は、飛行学校自体の変遷の説明や展示資料の説明を行うパネル等の制作を委託します。

3点目は、飛行学校の構造模型を囲うケースの製作を委託します。

総務常任委員会

《坂田公共施設運営事業》

1億3,655万円

問

坂田コミュニティセンター管理委託の業務内容を伺う。

答

指定管理者が行う業務として、利用許可の業務、利用料金の納入・減免・還付に係る業務、施設が置いた備

品の維持管理に関する業務が基本業務になります。

そのほかにコミュニティセンターとしての事業を企画し実施する業務と、指定管理者が提案する自主事業の実施があります。

《防災行政無線デジタル化事業》

3億1,060万円

問

善されるのか伺う。

答

無駄は決して許さないという姿勢が無い。道の駅は非公開で進め、旧飛行学校のムダ遣いは見直すべきだ。ごみは市長の政治判断の誤りで、裁判で二度と作らないとの和解に反し強引に進めた結果、事業が進まない。さわやか相談員は、月給から日給に変えるブック市役所だ。社協は、人件費を補助し、建物修理を市が引き受け、無償で貸すのは、納得できない。

考えています。

問

道路交通環境等の変化で聞こえにくい地域もあるが、設置数等含めそういう状況への対応についての考えは。

答

音の伝達状況等の調査の結果、周りの音でかき消されてしまふというところが幾つかありましたが、今回の工事では、現在の75局をそのまま維持していくという結論になりました。

補正予算

30年度決算に伴うものや補助金の内示等に伴うもので、主な質疑は次のとおりです。

《プレミアム付商品券事業》

8,693万8,000円

問

事業の流れについて伺う。

答

国の事業として、市がプレミアム付の商品券を発行する事業で、具体的な事務の流れについては未定です。

《川田谷小・桶川西小 桶川東小・朝日小 老朽化対策事業》

7億6,164万3,000円

※「トイレ改修工事」、「外壁改修工事」、「防水改修工事」などを実施します。

人事関係

農業委員会委員を
同意

(第26号〜36号議案)

岩崎 真一 氏

大野 仁 氏

加藤 俊子 氏

熊井 茂夫 氏

倉持 成彦 氏

小峯 完治 氏

白根 行枝 氏

砂川 富夫 氏

住谷 行雄 氏

滝沢 和一 氏

和久津一美 氏

監査委員を同意

(第37号議案)

江森 誠一 氏

埼玉中部資源循環組合議会議員補欠選挙

相馬 正人

桶川北本水道企業団

議会議員補欠選挙

新妻 亮

反対

消費税の10%の増税と、憲法と平和を壊す最悪の国家予算である。

地方自治体が住民の福祉を増進する責任を果たせるか、問われている。

まず、増税を容認する本予算に反対する。

国保税の値上げをはじめ、高齢者や生活困窮者の困難に向き合う姿勢が感じられない。

市長や議員の報酬引き上げを含む予算は、市民の理解を得られない。

賛成

長年の懸案である駅自由通路改修事業をはじめ、高齢者健康づくり事業、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の充実、待機児童対策、次期総合振興計画作成経費、

コミュニケーション・スクールや小学校への教育相談員配置事業の予算が計上。

厳しい財政状況の中、ごみ処理の外部委託など新たな行政需要にも対応し、子供から高齢者に配慮した予算に賛同する。

反対

予算規模240億5,700万円の

中、昨年は新庁舎が開庁し、本年は坂田地区に公民連携の公共施設がオープンとなる。

本年度は小中学校を始めとする公共施設老朽化対策事業や駅東口整備等の都市基盤整備、子育て支援の推進、高齢者及び障害者福祉に配慮された事業が予算化されている。

市民から信頼される行政の推進に期待し、賛成としたい。

賛成

対象者となる非課税世帯、3歳未満児を育てている子育て世帯の世帯主を約1万2,000人と見込んでいます。

購入するかしないかは、対象者の方の判断となりますので、広報等で周知を図っていきます。

予算規模240億5,700万円の

中、昨年は新庁舎が開庁し、本年は坂田地区に公民連携の公共施設がオープンとなる。

本年度は小中学校を始めとする公共施設老朽化対策事業や駅東口整備等の都市基盤整備、子育て支援の推進、高齢者及び障害者福祉に配慮された事業が予算化されている。

条例等の議案審議／議員提出議案

条例等

各常任委員会に付託された条例等についての審査で、主な質疑は次のとおりです。

市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例

市長等の給料月額及び期末手当の支給割合並びに議会の議員の報酬月額及び期末手当の支給割合を改定するものです。

問

特別職報酬審議会の答申に基づく改定とのことだが、市長議員の年収の県内順位は、

答

県内40市中、改定により市長の場合、29位となります。

桶川市公共施設整備基金条例の一部を改正する条例

桶川市公共施設整備基金の更なる活用のためのものです。

問

条例名が、「桶川市公共施設等総合管理基金条例」となるが、新規の公共事業のため

めに基金を積み立てる場合、この条例には含まないという考えでよいか。

答

新設の場合についても、考え方も含まれます。公共施設を新設する場合は、事業ごとに国から補助金、交付金等が出る場合もありますので、施設の事業の特性に応じて、最適な形を考えていきます。

桶川市道の駅整備事業者選定委員会設置条例

道の駅の整備に係る事業者の選定等に当たり、公平性及び透明性の確保を図るため、設置するものです。

問

事業の進行状況と委員会開催のタイミングについて伺う。

答

約93%の用地取得が済んでいます。31年度はアドバイザー業務委託を予定し、同業務を発注してから選定委員会を立ち上げます。実施方針・要求水準書の作成、事業者のプレゼンの合間に選定委員会の開催を考えています。市民の選定委員はどのような方法で決めるのか伺う。

問

市民の選定委員はどのような方法で決めるのか伺う。

答

坂田地区公共施設の選定委員会では、地元区長、その施設の機能、役割に關した団体の方を委員としていましたので、参考とします。

桶川市勤労青少年ホーム設置及び管理条例を廃止する条例

老朽化等により桶川市勤労青少年ホームを閉館することになったため、条例を廃止するものです。

問

東部連絡所に代わる機能の考えは、

答

個人番号カードが定着するまでの間、東公民館で証明書の交付の取り次ぎ業務ができるよう準備を進めていきます。

問

解体スケジュールを伺う。

答

平成31年度設計委託、平成32年度に解体工事の予定です。

委員会（議員）提出議案

議会は、1件の意見書を可決し、国会および関係機関に提出しました。

放課後児童クラブの職員配置基準等の堅持及び放課後児童支援員等の処遇改善を求める意見書

放課後児童クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に、放課後等に安全に安心して生活できるための遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図るものであり、そこでの対応する職員の体制が万全であることが必要である。

そのため放課後児童クラブで突発的な事故等が生じた場合、それに対応する職員の複数配置が必要であり、このことは放課後児童支援員等の研修等による資質の向上も併せ、国において基準を定め、市町村が放課後児童クラブに関する条例を定める際に従うべき基準と

されている。

一方、地方分権改革の提案募集において、全国的に放課後児童クラブの人材不足の深刻化により、

支障が生じているとして、当該従うべき基準の規制緩和を求める提案が一部の地方から国に提出された。これを受け国は、当該従うべき基準を参酌化することについて今後、地方分権の場で検討することとしている。

こうした中で、国においては経験等に応じた処遇改善を進めるための事業を始めたが、その要件が厳しいことから事業の活用が進んでおらず、それら職員の処遇の改善と確保もいまだ不十分な状態である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く求めるものである。

1 放課後児童クラブの職員配置基準に係る従うべき基準については、現行の基準を堅持するなど引き続き児童

の安全が確保されるよう措置を講ずること。

2 放課後児童支援員等について、給与等の処遇の改善など働きやすい職場環境の形成への更なる対策を推進すること。

この他に、「75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対する意見書」の提案がありました。賛成少数で否決となりました。（以下、主な内容）

2018年6月に閣議決定された「骨太方針2018」に基づき、2019年から後期高齢者の医療費の窓口負担を現行の1割から2割にすることが内閣府、財務省で検討され、経済財政諮問会議では参議院議員選挙後に具体化を急ぐとしている。（中略）

高齢者の生活実態に鑑み、高齢者の経済的負担が過重にならないようすることを考慮し、「75歳以上の医療費負担の原則2割化」を中止するよう求めるものである。

採決結果／一般質問

3月定例会で審議された議案とその結果

◆次の議案は全会一致で可決・同意されました。

議案番号	議案名	議案番号	議案名
第1号	平成30年度桶川市一般会計補正予算(第5回)	第16号	桶川市立小学校設置及び管理条例及び桶川市放課後児童クラブ設置管理条例の一部を改正する条例
第2号	平成30年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	第17号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
第3号	平成30年度桶川市公共下水道事業特別会計補正予算(第3回)	第19号	桶川市道の駅整備事業者選定委員会設置条例
第4号	平成30年度桶川市介護保険特別会計補正予算(第3回)	第20号	桶川市坂田地区公共施設等整備事業者選定委員会設置条例を廃止する条例
第5号	平成30年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3回)	第21号	桶川市新庁舎建設基本設計者選定審査委員会条例を廃止する条例
第10号	平成31年度桶川市公共下水道事業会計予算	第22号	桶川市勤労青少年ホーム設置及び管理条例を廃止する条例
第12号	桶川市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例	第23号	市道の路線の認定について
第14号	桶川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	第24号	市道の路線の廃止について
第15号	桶川市公共施設整備基金条例の一部を改正する条例	委第1号	放課後児童クラブの職員配置基準等の堅持及び放課後児童支援員等の処遇改善を求める意見書

◆賛否が分かれた議案は次のとおりです。

○は賛成 ×は反対 -は棄権 ※議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	議決結果	新風クラブ21					新政会			公明党			日本共産党		無党派			
			新妻 亮	江森 誠一	新島 光明	新井 孝雄	佐藤 洋	島村 美貴子	岡野 千枝子	岡安 政彦	糸井 政樹	相馬 正人	市川 幸三	仲又 清美	岩崎 隆志	保坂 輝雄	佐藤 正広	星野 充生	北村 文子
第6号	平成31年度桶川市一般会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第7号	平成31年度桶川市国民健康保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第8号	平成31年度桶川市介護保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号	平成31年度桶川市後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第11号	桶川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号	市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号	桶川市遺児手当支給条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第25号	平成30年度桶川市一般会計補正予算(第6回)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対する意見書	否	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×

桶川市の農業振興について



保坂 輝雄
公明党



問 桶川市の農業の特徴と課題は何か。

答 本市の農業の特徴は農地の広がり

問 効率的な経営に結びつきにくいことです。

答 狭い農地で収益を上げるためには、

問 第三者に農地を利用してもらうことも1つの方法であると考えます。

答 そこで、貸し農園、体験農園、観光農園等を推進すべきだと思いが、本市の支援について伺う。

問 農業者への支援をしてまいります。

答 農業振興への市長の考えを伺う。様々な先進事例を研究しながら、

問 本市の農業振興を進めていきたいと考えます。

答 保育所および放課後児童クラブの待機児童解消について

問 2019年度の保育所の待機児童数の見込みについて伺う。

答 一時選考の結果、国定義の待機児童はゼロ人ですが、潜在的待機児童は91人です。

問 保育所の待機児童解消対策を伺う。

答 2015年度以降、338人の定員増加を図るとともに、保育課の子育てコンシェルジュが窓口となり、市民への情報提供と相談を行っています。

問 きめ細かい調整を行い、最終的に待機児童ゼロを目指すか。

答 桶川西クラブについて

答 保育所の待機児童解消に向け、引き続き努力いたします。

問 次に、2019年度の放課後児童クラブの待機児童数の見込みについて伺う。

答 一時審査時点での待機児童数は37人となっています。

問 放課後児童クラブの待機児童解消対策を伺う。

答 桶川東クラブで30人増、民営クラブでも40人増と定員の増加を図っております。

問 保護者がどこのクラブでもよいと考えた場合、待機児童がゼロになる可能性があると考えますが、最終的な待機児童の見込みを伺う。

答 調整の結果、桶川西クラブ以外はほぼ待機児童がゼロになる見込みです。

問 桶川西クラブについても、民営クラブの定員に余裕があることから、最終的には待機児童はなくなるものと考えます。

一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

町内会未加入者も含めた納税者の全てに公平に区別無く広報等の配布を



渡邊 光子

無党派



問

「高齢の為に町内会に加入しても

答

広報等やその他

班長等の役員を引き受けられない」として、町内会加入継続を諦める高齢者が増加している。これらの方を含めて、町内会未加入者は桶川市民全体の3割近くにもなるという。この3月の広報配布時には広報と一緒に学校便りや水道便り、交通保険加入申込書に加え、4月から桶川市のごみ等の処理を他市へ委託するので、新たなごみの分別の仕方等の案内が配布された。現在、これらの町会役員によって配布される広報等は町会未加入者へは配布されない。数年間にわたり問うている、高齢者等の身体に不自由な方等を含む、町内会未加入者等への広報等の配布

を桶川市へ伺う。

市は各種文書の配布等が区長（区長代理含む。以下同じ）の担任事務のため、区長に配布をお願いしています。広報の配布を含めた区長が処理する事務全てに対して「桶川市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例」に基づいて報酬が支払われており、広報配布のみの報酬支払いではありません。自治会員（町内会員）だけに配布するのではなく、町内会未加入者を含む地区内の全世帯への配布をお願いしています。区長の皆様には、町内会未加入者を含む地区全体への広報等の配布を今後も引き続き、お願いしてまいります。

問

町内会未加入者を含む地区全世帯

（秘書室長）

への広報等の配布を、長年にわたり問うているがいまだに実現しない。町会未加入者を含む地区全世帯への広報等の配布を桶川市は真剣に、区長の皆さんにお願いしているのか疑わしい。納税者の全てに広報等は公平に区別無く配布されるべきである。報酬を引き上げて、報酬の対象地域である地区全世帯への早期配布を引き受けていただけるように、区長の皆さんに交渉することを伺う。

答

例えば、広報配布を何部したから

区長等の報酬が幾らになる、というような積算に基づいた報酬額ではないので手数料の値上げは難しいものと考えています。

問

介護する親たちの高齢化や亡き後の居場所について伺う。

答

自宅や地域で障がいのある家族の

介護を行う方にとって、介護を行うことができなくなったときの不安はとて大きなものだと推察します。障がいのある方自身は、なれ親しんだ今の生活がいつまでも続くことを願い、家族間での話し合いは思うようには進まないことも多々あるうかと思えます。市では、まず障がい福祉サービスでかわりのある相談員や市のケースワーカーにご相談していただくことをお勧めしています。さまざまな不安をお伺いし、地域の中で福祉サービスや地域の支援を受けながら、自立した暮らしがで

障がい者支援について



岩崎 隆志

公明党



問

介護する親たちの高齢化や亡き後の居場所について伺う。

答

障がい者年金の受給条件から外れた場合の救済措置は。

答

障がい者手帳の取得という形で所

持されている方には、特別障がい者手当ですとか、重度心身障がい者手当、あるいは生活相談という形での生活困窮による生活保護であるとか、また本人の経済的な自立を図るための自立支援制度、などでご本人の生活を支援しているところですよ。

城山公園について

問

バーベキュー場のトイレ使用時間の延長についてだが、健

康維持のために早朝に散歩をされる方は多くなっている。そこで朝9時からしか使えないトイレを時間延長して早朝から使えるようにしていただきたい。

答

運動は市民の健康維持に資するものと考えています。また、

昨今、健康への意識が高まって、早朝にウォーキングを行っている方が増えているということも存じ上げています。そのようなかで後押しできることを行っていくことも市の重要な役割として考えています。トイレの時間延長については、できるだけ早く実施できるように指定管理者と協議したいと考えています。

障がいをおもちの方に将来にわたり安心して暮らしていただくために。

執行部答弁



（秘書室長）

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

各種ヘルプマークの周知について



相馬 正人

新政会



問

どのようなマークが存在するのか。

答

玉県が普及している9つのマークの周知を行っています。障害者のための国際シンボルマーク、盲人のための国際シンボルマーク、聴覚障害者のシンボルマーク、ハートプラスマーク、オストメイトマーク、補助犬マーク、身体障害者標識、聴覚障害者標識、ヘルプマークの9つとなります。

問

まだまだマークと意味を理解している人が少なく、周知方法が不十分だと思いませんか。

答

ヘルプマークは、ヘルプを必要としていることや、ヘルプを必要とする障害をわかりやすく表示するためのものです。今後も啓発について、できる限り多くの人の目につくところに掲示して、埼玉県とも連携をしながら、効果的な周知をしてまいります。

答

9つのマークを示したポスターを市内循環バス、駅、市内公共施設に掲示して周知を図っています。また、障害者週間に合わせて広報12月号にて特集を組んで毎年周知を図っています。

問

市内に調査員は几名いるのか。

答

7名です。

問

7名で足りているのか。

答

人数が少ないから認定が遅れたというようなことはなく、不足はしていないという認識です。

問

ケースワーカーによって判定基準にばらつきはないのか。

答

認定調査は1人ではなく、2名のケースワーカーが訪問して聞き取りを行い、マニュアルを参考に2人の間で相談しながら調査員の記録という形に落とし込んでいきます。それでも判定に迷う場合には、グループ内で職員と話をしたりして、最終的には係長、課長を通してその書類を決定するという形で確認となります。

問

認定区分に不服があった場合、再判定は可能か。

答

少し時間が経過したあたりで、ご家族等からの相談で変化が著しく、改めて申請をしたいという場合には、申請をいただくことは可能です。

買物弱者対策として買物リハビリの導入を！



新島 光明

新風クラブ21



問

街中でも、高齢者や単身世帯が増え、買物が大変な方が増えている。蓮田市では、スーパーを会場に「通所サービスA（要支援1・2等の方を対象にリハビリとレクリエーション等を行う送迎付きサービス）」に買物支援（買物リハビリとも言う）をドッキングさせた介護予防を行う事業所があるが、桶川市内にも誘導することができないか伺う。

問

医療的ケアを要する子供の保育及び教育について

医療的ケア児（退院後の在宅生活でも、人工呼吸器や経管栄養の吸引、導尿等を必要とする子供で、全国で約1万8,000人程）の保育所及び小学校への受け入れについて伺う。

答

市では、集団保育が可能なか、医師の承諾が得られるか、スタッフが整えられるかを判断し、今回は公立保育所で受け入れることとしたものです。受け入れ体制は、1日の保育中2回の医療的ケアが必要なことから、保育所配属の保健師を中心に体制を組むもので、保健師不在の場合は、訪問看護ステーションの看護師を予定しています。就学の際は児童に応じ、専門スタッフの配置、環境整備、医療福祉との連携等を総合的に検討しながら、児童や保護者の心情を大切に、できるだけ保護者の考えに添えるよう進めます。

問

聴覚障害者の社会参加促進を図るには、手話通訳の充実が不可欠である。18年間も据え置かれた手話通訳者報償金の改定、臆病炎予防の健康診断、「労災」時の休業補償等を伺う。

答

報償金は現行2時間3,000円を3,300円に改定します。また、年1回頸肩腕検査を実施し、全国社協「福祉の保険」に加入し、派遣先への往復や活動中のけが等への対応を行っています。なお、休業補償は行っていません。

道の駅について



市川 幸三

新政会



問

サイクリングロードから休憩のため道の駅に来るサイクリストはどの道を使うと想定しているか。

答

本市道の駅の計画地は荒川沿いのサイクリングロードにも近く、また「埼玉県の自転車見どころスポットを巡るルート100」コース、「桶川・田園と歴史を再発見するルート」にも接近しています。この「桶川・田園と歴史を再発見するルート」を利用され、主に荒川沿いのサイクリングロードから県道川越栗橋線、上尾道路を経由して道の駅を訪れるサイクリストが多いと想定されますので、主要交差点等には適宜誘導看板や案内看板を設置する必要があります。と考えております。

問

道の駅に買い物のために自転車で購入する人への安全対策は、道の駅には市内

答

やご近所の方が買物を目的として徒歩や自転車等で訪れたり、高齢者の方や子供連れの方等、様々な方が利用する施設となります。安全対策としては、道の駅計画地内において自動車、自転車、歩行者が安心して移動できる動線計画を検討し、それに基づき適切な案内表示等を設置するなどして、安全な道の駅として整備してまいります。

組みについて。

答

食育と農業教育を一体化して行う取り組みです。食農教育として捉えられる活動として、県教育委員会が推進している埼玉の子ども70万人体験活動に位置づけられているみどりの学校ファームがあります。

答

これは学校単位に農園を設置し農業体験を通じて生命や自然、環境や食物などに対する理解を深めるとともに、情操や生きる力を身に着けることを目的とした取り組みです。

答

本市においては全ての小中学校で取り組んでおります。例えば小学校では生活科や総合的な学習の時間において、学校ファームで大根やジャガイモなどの野菜や稲などを栽培しております。収穫した作物は家庭に持ち帰ったり、学校給食の食材として使用したりしています。

食農教育について

問

食農教育の取り

コミュニティスクールについて



岡安 政彦

新政会



問

新たな事業として始まるコミュニティスクールについて伺う。

答

コミュニティスクールの学校運営及びその支援に関して協議する機関です。教育委員会及び校長の権限と責任のもと、保護者及び地域住民等の学校運営への参画や学校運営への支援及び協力を促進することにより、学校運営の改善及び児童生徒の健全育成に取り組み、地域とともにある学校づくりを推進する新たな事業となります。

問

今後このコミュニティスクールが定着することで教職員の負担軽減になるか伺う。

答

このコミュニティスクールが定着することにより、教職員の負担軽減は期待しております。

問

をしまして、地域の皆様への理解が深まってくれば、学校づくりを進めることが出来たので、結果として教職員の負担の軽減につながるものと考えています。

答

今後の地域福祉活動センターについて

問

大規模改修後の防災面について伺う。

答

地域防災計画上では、総合福祉センター及び保健センターが福祉避難所として位置づけられています。大規模災害には、社会福祉協議会がボランティアの受け入れを行う災害ボランティアセンターを立ち上げる予定となっております。市としては、このよ

羽田行バスについて

問

桶川には、圏央道もあり今後も上尾まで首都高速が伸び、この利便性をいかしたバス交通を上手く使えないものか市としてのお考えを伺う。

答

首都高の延伸など将来的には本市を取り巻く交通環境がまた大きく変化していくものと認識しております。今後も引き続き市民の皆様の利便性向上に向けまして図ってまいります。



議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

市の事業点検評価結果内容と今後の課題について



新井 孝雄

新風クラブ21



問

市の主要事業の点検評価をしたようだが、その検討対象事業の抽出や評価の方法、また具体的な事業の例示について説明を。

答

今年度の事務事業点検では、事務事業費が一般財源ベースで一千万円以上のもので中心に、事業効果の検討で33件、業務運営体制の見直しで75件、サービス水準の適正化で22件、適正な受益者負担9件と、139の事業について、各課から提案を求め、企画財政部を中心に点検を行いました。

いくつか例を申し上げますと、自転車駐車場管理棟委託、図書館運営業務経費、市内循環バス運行事業、市民活動サポートセンターの効果的な運

問

営、道路照明灯のLED化、待機児童解消に向けた放課後児童クラブの定員確保、それから児童館運営、城山公園バーベキュー場等の運営など、多岐にわたる事業がございます。

問

この評価結果を踏まえた中で、次年度に向けた各部での更なる検討指示を通知したようだが、今後の再検討へのロードマップはどのようなに考えているのか。

答

平成31年度当初予算に反映するもの、平成32年度以降に向けて検討するものを含めて点検結果を通知しております。今後も、持続可能なまちづくりの推進のため、各課の検討状況を確認して、結果を順次反映させてまいります。

難聴者のための環境改善に向けた支援等の内容について

問

難聴者に対する支援策として、実施されている事業として現行どんなものがあるか。

答

原則身体障害者手帳所持者に対しては、法に基づく補装具費支給制度による補聴器の支給がございます。

問

軽度や中等度の方々も多く、支援の充実が必要と思うが、現行の制度と今後の考え方について。

答

聴力レベルが軽度や中等度の方の制度として、市では、18歳未満の児童について、県の助成補助を受け、難聴児補聴器購入費助成事業を実施しております。18歳以上の方の制度はないという状況がございます。今後、朝霞市などの取組みなども参考として、私どもも研究していく必要があると思っております。ところでございます。

可燃ごみ袋の改善を



星野 充生

日本共産党



問

単身の高齢者から、一番小さいごみ袋でもそれをいっぱいにして出すのに何日もかかる、もう少し小さいごみ袋が出せないかとの声を聞く。

答

埼玉中部資源循環組合のほうで、今後統一を図っていくのか様子を見て、仮に統一を図らないということになれば、桶川市独自でも市民ニーズに合ったものに見直しをするということは考えてまいります。

問

統一が図られた場合、今使っているごみ袋はどうなるのか。

答

在庫がなくなるまでは使っています。在庫がなくなると、統一が図られなくともサ

問

イズを小さくするのは、今からやってもいいのではないか。

答

小さくしても値段的には変わらないとなれば、今現在の大きさのものを現在の段階では使っていきたいと考えています。

問

単価は同じでも、小さければその分だけ使い勝手もよくなると思われる世帯もあるということを考えて前向きに検討していただきたい。

答

今後どのようなごみ袋がいいのか、前向きに検討していきたいと思っております。

問

いのちを守るために、エアコン設置補助制度を

問

高齢者等に対する酷暑対策は何か

答

考えているのか。啓発を強化し、熱中症は死に至ることもある危険な症状だということを一人ひとりに確認していただくことや、地域の方々の見守り活動への協力、各関係機関との連携を密にしていきたいと考えております。

問

今年の酷暑を受け荒川区では、65歳以上の単身高齢者世帯または高齢者のみの世帯、身体障がい者や就学前の子どもがいる世帯等に対して、エアコン等の購入と設置に係る経費を上限5万円で補助している。桶川市でも補助制度を導入すべきではないか。

答

エアコンがあってもつけたくない、具合が悪くなってしまうからという理由で、つけたがらないという声があります。人の支援は大事にしていきたいと思っております。先進的な取り組みに関しては、調査研究を今後してまいりたいと存じます。

ネグレクト(育児放棄)について



岡野千枝子

新政会



問 ネグレクトの発見と対応策について伺う。

答 ネグレクトの発見は、児童の服装や身なりなどにより疑われる場合があります。同じ衣服を数日続けて着ている、お風呂に入っていないなど、頭髮などに汚れが目立つことや匂いなどから不衛生な状況が心配される。また保育所の給食の時間で食事への執着が強く見られるなどの特徴があります。

また、保護者と十分な連絡がとれないまま長期欠席が続くケースや、未就学児を一人で家に残して保護者の外出が疑われるなどのケースもある。対応は、ケースワーカーが保育所等を訪問し、児童を直接目視して安全

を確認しています。また、担当の保育士や所長から保護者の状況等を詳しく聞き取り、保護者へのアプローチの仕方を個別に検討して対応をしています。心配の程度が著しく高く緊急性を疑う場合や、長期欠席が続く保護者とも連絡がとれず、第三者による児童の安全確認を行う事ができない場合については、早急な対応が必要のため、児童相談所へ協力を要請して対応します。このような対応があった児童については、要保護児童対策地域協議会の実務者会議において報告をし、進行管理台帳にケース登録をします。

その上で、保育所の出欠状況などを含めて定期的な状況把握に努めています。

予防歯科医療について

問 8020活動の啓発について伺う。

答 80歳以上で自分の歯を20本以上ある人の割合は51.2%となり、5年前の40.2%から比較すると大幅に歯の健康を保つ人が増えています。

問 学校において、長期に集団でフッ化物洗口を実施している児童生徒は、虫歯の発症をフッ化物洗口開始前に比べて50%から60%予防したとの報告がある。

そこで、市内の学校で実施できないのか伺う。

答 フッ化物洗口をするための薬剤の管理あるいはフッ化物洗口する時間の確保、また保護者や教職員の理解、また、費用面等の課題があると思います。課題を整理して検討します。

整理して検討します。

市民サービスの向上および子育て支援について



仲又 清美

公明党



防災行政無線の『電話応答サービス』の導入について

問 聞こえづらいと言った内容を、防災無線の周知を始めたが、メールを使わない市民もいることで、電話で内容を聞くことができる『電話応答サービス』の導入を、先の議会にて提案した。いつ導入ができるのか。

答 来年度より2カ年の継続事業として防災行政無線のデジタル化工事を行います。そこで、電話応答サービスは可能となります。

桶川市住宅リフォーム資金補助金について

問 屋根の改修、外

壁の改修等、市内業者を利用して20万円以上の工事費のうち消費税抜きの5パーセント、または、10万円のどちらか少ない金額の補助金があることを、知らない市民がいる。今後の周知は。

答 今後、市民向けのチラシを作成し産業観光課の窓口や情報コーナー等に設置します。商工会や建設関係の各組合にもご協力頂き、積極的に周知をします。

プレミアム付き商品券の発行について

問 本年10月の消費

税引き上げで景気の落ち込み等、低所得者や子育て世帯へ配慮したプレミアム付き商品券発行について本市の対応は。

答 現在、必要な準備を進めています。

保護者のニーズに 応える子育て支援 政策について

問 乳幼児健診の待ち時間が長いとの声が上がっている。待ち時間を短縮できないか。

答 職員を増やし、待ち時間が少なくなるよう努めます。

問 保育所の使用済みおむつを持ち帰ることができないか。

答 引き続き検討します。

問 3歳から就学時まで健診がない。

答 就学前に発達に問題があれば保護者は不安だ。5歳児健診を行う鴻巣市の事例を研究し、前向きに検討してほしい。

問 鴻巣市の5歳児

健診は、予約制で、毎月6名までの人数を受け入れていると伺っています。発達支援が充実できるよう努めます。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

旧飛行学校工事にまた不祥事!? 労災未届け



北村 文子



問

前議会、現場監督員の二重就任問題について、大野建設は「労災届け日が現場監督の就任日で重なっていない」との釈明を出したところが、2月14日まで労災保険を申請していなかったことが判明した。

答

まことに申し訳ありません。現場のほうでもチェックをしていませんでした。

問

現場は、屋根に上るなど、きわどい仕事もある。万が一、事故が起きたら、桶川市の責任は非常に大きい。市長、どうなのか。

答

大野建設に対し、

問

再度このようなことが起こらないよう、万全な体制で臨むよう申し入れをしています。

答

市も、今回のケースを肝に銘じ、施工業者に再度確認を促すことも必要だと改めて痛感しました。

問

10カ月もこの状態は、詐欺に等しい。ペナルティーは。

答

反省と改善の文書が出され、それを信頼したいと考えます。



10カ月間提示された偽の労災保険成立票

南小跡地に病院誘致を

問

桶川の10万人当たりの病床はどのくらいか把握しているか。

答

ちょっと手元に資料が無く申しわけございません。

問

桶川は357.1人、1,000人当たり3.6人と極めて低い。ところが、一般診療所は県内63市町中10位と、町医者が多い。

答

近代医療は、高度な医療が要求され、病院が必要というところは、市長もよくおわかりになっていると思う。南小跡地に病院の誘致を、真剣に取り組んでいただけないか。

答

安心できる医療体制は当然確立しなくてはならないと思います。産科も含め、思いは同じで、課題もあり、議員からも提案いただければ、大変ありがたい。さらに踏み込んだ議論を庁内でも進めていきたいと考えています。

2025年問題に向けて看護師不足と訪問看護の現状



島村美貴子

新風クラブ21



問

2025年問題、後期高齢者の増加への対応と訪問看護について、看護師が不足している現状から桶川北本伊奈地区医師会立准看護学校の奨学金支援制度の創設について伺う。

答

昨年11月15日付で、桶川北本伊奈地区医師会会長から、桶川市長、北本市長、伊奈町長宛てに、准看護学校を卒業後、正看護師を目指して進学する学生に対する奨学金制度を創設することに關し、費用補助の要望書をいただきました。要望書によりますと、准看護師資格取得後、さらに進学し、正看護師の資格を取得したい意向があるものの、経済的理由で諦めざるを得ない学生が多い現状があるようです。

問

桶川北本伊奈地区医師会訪問看護ステーションの現状について。

答

桶川北本伊奈地区医師会訪問看護ステーションの現状について。看護師10名。うち常勤看護師4名、平均年齢52歳で対応しています。29年度の利用人数は1,502人、訪問回数は6,660回です。課題として、地区内での看護師不足、現看護師の高齢化が進むことです。

問

奨学金の対象者と条件は。

答

成績優秀者1名分です。看護師免許取得後は医師会の訪問看護ステーションへの就業を希望する方と伺っています。条件が整えば、正看護取得までに必要な約300万が全額支給されます。

問

奨学金制度の創設は、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、また経済的な理由で進学を諦めることのないように、今後の制度維持の考えは。

答

関係市町、医師会と連携を図りながら、維持していきたいと考えます。

問

西側大通り線と駅西口通り線(市道73号線)交差部の混雑緩和策

答

旧一三三屋の交差点から駅方面に向かい(市道73号線)、すぐ右折する道路(市道4074号線)は通行しにくいのが、上尾方面に向かうのに便利で、交通量も多い。右折の際、混雑が発生している。解決策は。

問

市道73号線のセクターライン上にポストコーンを設置し、旧一三三屋方面から来る車を右折不可にすれば、渋滞が緩和しますが、ポストコーンが邪魔になります。現状では、解決策は見つかっていません。

答

解決策は。

問

解決策は。

答

解決策は。

問

解決策は。

答

解決策は。

ハザードマップの改定内容と、市の取り組み強化で、周知・徹底を



佐藤 正広

日本共産党



問 今回のハザードマップの改定の内容、現状からの変更点と新たに対応すべき点について伺う。

答 洪水ハザードマップの情報を国の最新の洪水浸水想定区域図に更新し、地震ハザードマップを最新の埼玉県地震被害想定調査の情報に更新するものです。

問 今回の改定で、かなり浸水区域が広がっている。今回の想定雨量で浸水想定区域がどれくらい広がったか。

答 広がった主な地区は、まずは石川、江川周辺の川田谷地区、江川周辺の日出谷地区です。東側では、赤堀川や高野戸川周辺の加納地区、加納中学校周辺な

ども広がっています。

問 自治体には市民の安心と安全を守る使命があるのだから、何か住民から要望があったら説明に出かけるとは、非常に消極的で、市の役割を果たせるのか。市長に伺う。

答 今後も、大規模災害の発生に備えるとともに、万が一発生した際には、災害リスクの軽減に努めてまいるのであります。

問 国の補助対象項目の追加や、単価引き上げに対する市の考えを伺う。

答 新入学児童生徒学用品費について、

就学援助制度の拡充を求める

問 国の補助対象項目の追加や、単価引き上げに対する市の考えを伺う。

答 新入学児童生徒学用品費について、

国が単価を小中学校ともに1万円引き上げるので市の来年度予算に計上しました。

卒業アルバム代は、今後、他市町の動向も踏まえて調査研究します。

分庁舎跡地の利用計画の早期具体化を

問 公共施設建設の中で、児童館、老人福祉施設、コミセンの機能が必要と考えるが、市の見解を伺う。整備の概算費用を訊ねる。

答 当該地について、桶川市公共施設配置基本計画では、生涯学習、市民交流、児童館といった子育て支援機能などを複合的に備えた施設機能で検討します。総合福祉センター規模だと、十億円前後になります。

問 分庁舎の今後の利用の予定を伺う。

答 来年度も地域の皆様の一部会議室の貸し出しを継続する予定です。

いじめの解決と不登校児の対策について



新妻 亮

新風クラブ21



問 いじめ対策アプリの導入について市の見解を伺う。

答 いじめ対策アプリは、相談ツールの一つとして有効性があると捉えています。しかし、運用に当たり人員が必要であり、現時点では、多様な取り組みを継続しながら、アプリを導入した自治体を注視しながら、より効果的な対策を研究してまいります。

問 スクールロイヤールの導入について市の見解を伺う。

答 複雑化した「いじめ問題」の解決に向けて、法律の専門的な知識を持ったスクールロイヤールといった役割の方も今後必要になるとい認識はございます。不登校児童生徒

に対する進路指導の対策と、義務教育課程修了後の対応について伺う。

答 本人と担任による2者面談や保護者を加えた3者面談等を通して、本人や保護者の具体的な考えを丁寧に聞き、進路の実現に向けて取り組んでいます。義務教育課程修了後の対応については、在籍していた中学校において、必要に応じて相談に乗ることや、桶川市教育センターで18歳までを対象年齢とした電話相談及び面接相談の機会を確保しています。

問 現在ITを活用して自宅での学習活動について、出席扱いにするという取り組みがあるが、市の見解を伺う。

答 こちらは保護者

子どもたちの居場所づくりについて

問 県の平成31年度予算案で、県内800小学校区に子ども居場所を1カ所ずつ作る目標を立てているが、市内7小学校区、7つの場所の目星をつけているか伺う。

答 今後、子ども食堂や学習支援等の立ち上げなど、団体から相談があった場合、県と連携を図りながら、市としてできる限りの支援をしていきたいと考えておりますが、現段階では目星をつけられていないのが現状です。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

シビックプライドについて



江森 誠一

新風クラブ21



問 シビックプライドの重要性について伺う。

答 シビックプライドにつきましては、まちへの愛着や誇りとして心の中に育まれていくものであり、地域コミュニティの活性化やよりよいまちづくりを推進していくための基盤となり、大きな原動力になるものと考えております。

問 本市における愛着や誇りとは、どのようなものがあるとお考えか伺う。

答 市民が誇りと感じるものには、有形無形というものがあるので、それぞれの価値観の中で心に根づいたり育まれるものと認識いたします。例えば中山道の宿場町として栄えた歴史あ

る祇園祭のほか、荒川の河川敷や縁豊かな自然あるいは市民ホールや城山公園といった周辺が一体となり、醸し出すような雰囲気などそういった景観も誇りと考えています。

問 将来的に見た新たな住民主体のまちづくりについて、どのような構想をお持ちか伺う。

答 全国的に少子高齢化が進行している中、人口構成の変化が確実に変わっていくという事は、避けられない状況です。まちづくりに関して、今後はその変化に対応していく為の手法を検討する必要があります。本市におきましては、自分たちのまちの魅力に気づいてもらい、ま

ちに愛着を持って、魅力を語れる人々をどう増や

していくかが求められると思います。そういった意味では、地域の皆様と共に最適な手法を選択しながら、諸施策を進めて行きたいと思えます。

一般廃棄物処分事業について

問 さいたま市、川島町、蓮田白岡衛生組合団体以外での受入れ先を検討しているのか伺う。

答 他の団体についても相談をさせて頂いておりますので、受入れが可能になった場合には、年度の途中でもお願いしていく考えです。

問 現焼却施設を再稼働させる確率について市長の考えを伺う。

答 例えば大規模災害など緊急事態の場合には稼働というものを検討しなければならぬことも考えられますが、現時点においては、稼働する考えは全くもっておりません。

子どもの命を守ることに



糸井 政樹

新政会



問 また悲しい事件が起こってしまった。本年1月24日、以前から父親による虐待を受けていた千葉県野田市の栗原心愛さんが、自宅で死亡するといった凄惨な事件が発生し、両親が逮捕された。

答 子どもを守る最後の砦と思われる家庭内で起きたこの事件について、岩田教育長の所感を伺う。

問 心愛さん虐待事件は他人ではなく両親による虐待殺害です。生まれた時両親は、漢字の「心」と「愛」を当て「みあ」と名付けました。心から人を愛せる人になってほしいという願いだったのでしょうか。

答 心愛さんの生きた10年間は、どんな喜びや悲しみ、怒りがあったのか、

当市のごみ行政について

問 環境センターは昭和52年に稼働開始し42年目を迎え、役目を終えることになった。長期にわたりお世話になった周辺住民の皆様や、桶川市環境センター周辺地区対策協議会の皆様に感謝を申し上げます。

答 今後の桶川市環境センター周辺の環境整備事業はどのようなことが行われるのか伺う。

答 協定書に基づいた道路の拡幅や修繕などの事業が一部未了となっておりますので、早期完了に向け取り組みまいります。

問 環境センターに残る事業は。

答 不燃性の粗大ごみ処理施設や、缶などを選別するリサイクルセンターは引き続き稼働をすることになります。

問 窓口対応における対応指針を職員に示しました。学校へは虐待を認知するに至った経緯などの情報の取扱い、保護者からの威圧的な要求への対応など、児童虐待防止に係る留意点を通知しました。

『第17回議会報告会』開催のお知らせ

桶川市議会では、市民の皆様には、議会で決定した内容や経過などを説明し、議会活動についての状況を知っていただくために、下記の日程で議員による議会報告会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時

令和元年 5月19日(日曜日)
午後2時00分～

開催場所

桶川市坂田コミュニティセンター 多目的室1・2
(愛称 スマイルピアザ坂田)
(桶川市坂田東二丁目3番地の1)



報告概要

平成31年3月(第1回)定例会の内容(当初予算審議等)について

- ※平成31年度当初予算審議等について、各常任委員会の審査から、議会での議決までの経過報告をします。(1時間30分程度)
- ※当日の資料は5月15日以降、議会HPで事前にご覧いただけます。

申し込みは不要です。直接会場にお越しください。



主催：桶川市議会 / 問い合わせ：桶川市議会事務局 048-786-3211

定例会のお知らせ

6月定例会は6月5日(水曜日)午前9時30分開会、会期日程は以下の予定で調整中です。
(※議長の公務や事業等の都合により変更する場合があります)

[会期日程(案)]

5日 開会日
10日・11日・12日 常任委員会
13日・14日・17日・18日 一般質問
20日 閉会日

本会議傍聴者数

月日	人
2/21	12
2/22	0
3/4	0
3/12	4
3/13	6
3/14	16
3/18	1
3/19	1
3/25	4
3/26	4
合計	48

声の市議会だより・点字版市議会だより

桶川市議会では、ボランティアの皆さんのご協力により「声の市議会だより」(紅花の会)、「点字版市議会だより」(点字レモンの会)を作成しています。
利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。



3月議会の開会前に、議場において市民団体の「ハミングバード」様のご協力によるリコーダーの発表会を実施しました。(2月21日)

編集後記

新1年生もそろそろ学校に慣れてきたころでしょうか。

今回の3月定例会では、新年度予算審議、補正予算の内容など34日間の議会内容を今回の市議会だよりに掲載させて頂きました。

今日、5月1日から新しい年号となり「平成」から「令和」の時代へと移ります。万葉集出典の国書からの引用した、「令和」。

素晴らしい時代になりますように努力し、市民の皆さんに分かりやすい市議会となりますよう頑張ってください。

(岡安)

議会だより編集委員会

委員長 島村美貴子
副委員長 岡安政彦
委員 新妻亮
委員 星野充生
委員 北村文子
委員 岩崎隆志
委員 佐藤洋